

ワークショップ 5 「消化管疾患のデータベースの現状と将来」

Present status and future perspectives of the database in the field of GI tract

司会 松田浩二（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院消化器内科）

齋藤 豊（国立がん研究センター中央病院内視鏡科）

日本は今まで消化管診療において巧みの技の世界では世界をリードしてきた。しかしながらビッグデータの世界では欧米に遅れをとっていたと言わざるを得ない。しかしながら近年、消化管領域においても外科領域では手術症例における National Clinical Database (NCD)、消化管内視鏡領域では Japan Endoscopy Database (JED) がスタートしている。これらビッグデータベースを用いた今後の臨床研究のあり方や、研究を行う上での問題点、また将来の展望や課題など、多くの演題を募集いたします。